

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	小学校英語教育法		
担当者(Instructors)	西崎 有多子	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要(Course purpose/outline)
小学校外国語教育に係る背景知識や主教材、中・高英語教育との連携と役割、児童や学校の多様性への対応力、児童期の第二言語習得の特徴の理解と留意点・活用法、実践に必要な基本的指導技術の習得、英語でのやり取りの進め方、文字の導入法と指導、授業づくりに必要な知識と技術、学習状況の評価の方法等、授業実践に必要な知識・指導技術・授業づくりを学ぶ。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	小学校外国語活動ならびに外国語（英語）の授業実践の基礎的知識を実践を想定しながら確認する。グループワークを使い、一人ひとりが模擬授業を行い、全員での授業評価をととして授業改善の方法を身に付ける。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション、学習指導要領、映像による小学校英語授業観察（１）	授業の進め方、学習指導要領、小学校英語の授業の確認。	☐
第2回	小・中・高等学校の連携と小学校の役割、児童や学校の多様性への対応、主教材（１）	小中高の連携、児童や学校の多様性、主教材と指導案について学ぶ。	☐
第3回	子どものことばの学び方（言語習得、類推から理解へ、音声によるインプットの在り方）	子どもの言語習得ついて確認し、指導上の活用について学ぶ。	☐
第4回	伝え合うことに関するポイント（目的や場面、相手意識）、4技能、ことばの面白さへの 気づき、国語との連携、他教科との関連、主教材（２）と指導案作成	伝え合うためのポイント、国語との連携、他教科の活用等の指導上の留意点を学ぶ。	☐
第5回	スモールトーク、クラスルームイングリッシュ、模擬授業体験（１）と指導案作成	スモールトークの実践と模擬授業の体験、指導案作成を行なう。	☐
第6回	学習到達目標、年間指導計画、短時間学習、学習指導案の形式と立案、主教材（３）	学習到達目標、年間指導計画、短時間学習、指導案作成、主教材について学ぶ。	☐
第7回	模擬授業（１）、振り返り、英語のやりとりの実践演習（１）	模擬授業を行ない、振り返りを行なう。英語のやりとりの方法を学ぶ。	☐
第8回	模擬授業（２）、振り返りと授業体験、文字の導入方法と留意点、読む活動	模擬授業を行ない、振り返り、改善方法を学ぶ。文字指導と読む活動について知る。	☐
第9回	模擬授業（３）、振り返りと授業改善、文字指導と書く活動	模擬授業を行ない、振り返り、改善方法を学ぶ。文字指導と書く活動について知る。	☐
第10回	題材の選定、教材研究、ICT教材の活用、英語のやりとりの実践演習（２）	教材研究、ICT教材の活用法、英語のやり取りの実践を行なう。	☐
第11回	模擬授業（４）聞く・話す指導、振り返りと授業改善	模擬授業を行ない、振り返りと改善方法を学ぶ。聞く・話す指導について学ぶ。	☐
第12回	学習状況の評価（パフォーマンス評価、到達目標）、英語のやりとりの実践演習（３）	評価について学ぶ。英語のやり取りの実践を行なう。	☐
第13回	ティーム・ティーチングによる指導の在り方と模擬授業体験（２）と指導案作成	ティームティーチングについて学び、その模擬授業体験を行なう。	☐

第14回	模擬授業（５）チーム・ティーチングの実際	チームティーチングを取り入れた模擬授業を行ない、振り返り、改善を行なう。	☐
第15回	模擬授業（６）とまとめ	最終模擬授業(6)とまとめをする。	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
事前学習として、指導する単元の目標・指導内容をよく確認し、教材研究を行う。評価方法を含む指導案を作成し、模擬授業の練習をグループワークを含めて2時間程度行う。模擬授業の仮指導案に基づき、事前打ち合わせに参加する。事後学習として、指導案や模擬授業の改善点を全員の評価シートも参考に確認し、更にスモールトークやクラスルームイングリッシュも活用できる改善した指導案を2時間程度かけて作成し、提出する。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
小テストは、テスト後、解答を確認し、解説を行う。指導案作成・模擬授業に個人、グループ、教員との面談で時間をかけ、全員からのコメントや評価シート（全員分を授業者に配布）から改善点を見出し、各自の模擬授業にも反映させ、問題点と改善方法を共有する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	小学校英語の実践に必要な指導技術、授業の進め方、文字の導入、評価方法等を理解し、説明できる。効果的な授業を行なうための指導案が書ける。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	授業の目標を的確に理解し、様々な指導法を用いてめあてが達成できる授業を工夫することができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	教材をどのように授業で活用するかを自ら考え、指導案を作成し、模擬授業ができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) クラスルームイングリッシュ・語彙の小テストと授業内容のテスト 60%、指導案、模擬授業、他の学生の模擬授業に対する評価シート 40%				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック』（文部科学省）	文科省サイトより各自ダウンロード、印刷
2	文部科学省 『Let's Try! 1』指導編, 『Let's Try! 2』指導編	該当番号なし
3	文部科学省 『Let's Try! 1』, 『Let's Try! 2』	該当番号なし
4	NEW HORIZON Elementary English Course 5, NEW HORIZON Elementary English Course 6	978-4-487-10685-1
5	NEW HORIZON Elementary English Course Picture Dictionary	978-4-487-10586-1

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「小学校学習指導要領 外国語」（平成29年3月公示 文部科学省）	
2		
3		
4		
5		